



小川 純文
議員
(政清会)

問 防災対策の取り組みと課題は
答 防災組織の設立をさらに推進していきたい

問 過日の震度5弱の地震のよ
うに、地震というものは、
いつ起こるか予測のつかないもの
であり、正に日頃の備えが、災害
被害を少ないものにするかの鍵を
握っていると、過言ではない。

今後起こりうる地震などの災
害から町民の生命と財産を守って
いくために、以下伺う。

- (1) 2月2日の地震の際の対応状況は。
- (2) 地域防災組織の設立状況は。
- (3) 町の防災対策備品の配置と避難所の災害用備蓄品の配置状況は。
- (4) 独居老人等の避難弱者への対応は。
- (5) 消防団の態勢と連携は。
- (6) 緊急貯水槽の整備計画は。

町長 (1)地震発生直後、幕別町
地域防災計画の定めに従い、役場
本庁舎などに職員142名と非番
の消防職員32名の計174名の職
員が登庁した。その後、災害対
策本部を立ち上げ、人的被害の把
握と被害状況の調査を指示した。
(2) 設立公区数は、32公区で、世帯
数では47・7%、人口では46・0

%の割合に達しており、年々設立
公区数も増加している。

- (3) 備蓄保管場所は、町内4地区6
カ所と定めており、避難所の災害
用備蓄品は保管スペース、定期的
な点検やメンテナンスの点から一
括管理としている。
- (4) 災害時要援護者台帳の情報を活
用しながら、支援体制の構築に取
り組んでいく。
- (5) 防災計画に定める災害対策本部
の指揮下に入り、要請に基づき迅
速な連携を確保することとしている。
- (6) 「耐震性貯水槽基本計画」に基
づき、可能な限り早期に整備を完
了させたい。

問 札内福祉センターの耐震化と
サイビスの充実について
答 総合的に検討を行い、住民サー
ビスの向上に取り組んでいく

問 (1)耐震診断結果を受け、方
策は。

- (2) 住民サービス機能の充実は。
- (3) ワンストップ窓口

- ② 時間延長
- ③ 福祉相談
- ④ 健康相談
- ⑤ 住民票等のコンビニ交付

町長 (1) 現施設の老朽化の状況
や耐震改修に要する費用などの観
点から総合的に判断し、センター
を改築する方向で、現在、内部で
課題の洗い出しなどを行い、隣接
する札内東コミュニティセンター
の施設機能の有効活用とあわせて
協議を進めている。

- (2) ① 複数の用件で来庁した方に対
して1カ所の窓口で全てを対応す
るワンストップ窓口を採用してお
り、スピードアップに努めている。
- ② 昨年度より3月の最終週から4
月の第1週にかけて土曜日と日曜
日の開庁を含めた時間延長業務を
行っている。
- ③ 一般的な福祉にかかわる用件に
ついては、支所職員が相談や受け
付けを行っている。福祉課などが所
管する生活困窮者や障害者の相談
業務などは、相談内容によって福

祉担当職員が支所で対応したり、
相談者宅を訪問するなどの方法で
対応している。

- ④ 月曜日から金曜日の毎日、相談
窓口を開設し、健康相談が受けら
れる体制を整備していく。
- ⑤ コスト面も含む、様々な課題を
検討・研究をしながら対応してい
きたい。

再質問 (1) 自主防災組織等の公区
との連携と方策は。
(2) 災害時の情報連絡手段は。
(3) 防災協定の現状と拡大は。

答 (1) 各公区に防災福祉を担当する
方の配置を提案している。
(2) 新年度より緊急速報メールによ
る情報提供を進めていく。
(3) 燃料販売店や商工会と防災協定
を結んでいる。



鉄南4公区合同防災訓練の様子